

取締役のスキルマトリックス

取締役会は、経営上の戦略的な意思決定を行うこと及び経営の監督を行うことに専念し、業務執行機能は分離いたしました。取締役会は全社としての知識・経験・能力のバランス等を総合的に判断し、的確かつ迅速な意思決定を図ることができる体制としております。

| 会社における地位 | 氏 名 | 企業経営 | I C T | 営業 | 人事 人材育成 | 財務会計 | リスク 管理 | E S G S D G s |
|----------------|-------|------|-------|----|------------|------|-----------|------------------|
| 代表取締役社長 | 北澤 直来 | ○ | | ○ | | | | ○ |
| 代表取締役 | 山崎 信宏 | ○ | | ○ | ○ | | | ○ |
| 代表取締役 | 藤野 修二 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ |
| 取締役 | 大澤 実 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ |
| 取締役 | 上山 和則 | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 取締役 常勤監査等委員 | 福田 哲夫 | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 社外取締役 監査等委員 | 星野 陽司 | ○ | | | | | | ○ |
| 社外取締役 監査等委員 | 小島 昇 | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 社外取締役 監査等委員 | 竹原 朋子 | | | | | | ○ | ○ |

以 上

取締役（監査等委員を除く）の報酬等の決定方針

当社の取締役（監査等委員を除く）の報酬等の決定方針は次のとおりです。

1. 基本方針

当社の取締役の報酬は、企業価値の持続的な向上を図るインセンティブとして十分に機能するよう株主利益と連動した報酬体系とし、個々の取締役の報酬の決定に際しては各職責を踏まえた適正な水準とすることを基本方針とする。具体的には、業務執行取締役の報酬は、固定報酬としての基本報酬、業績連動報酬等により構成し、監督機能を担う社外取締役については、その職務に鑑み、基本報酬のみを支払うこととする。

2. 基本報酬（金銭報酬）の個人別の報酬等の額の決定に関する方針

（報酬等を与える時期または条件の決定に関する方針を含む。）

当社の取締役の基本報酬は、月例の固定報酬とし、役位、職責に応じて他社水準、当社の業績、従業員給与の水準をも考慮しながら、総合的に勘案して決定するものとする。

3. 業績連動報酬等の内容および額の算定方法の決定に関する方針

（報酬等を与える時期または条件の決定に関する方針を含む。）

業績連動報酬等は、事業年度ごとの会社業績向上に対する意識を高めるため、単年度の経営業績の達成度を反映した現金報酬とし、各事業年度の連結営業利益の目標値に対する達成度合いおよび個人業績評価等を総合的に勘案して算出された額を賞与として毎年、一定の時期に支給する。目標となる業績指標とその値は、適宜、環境の変化に応じて見直しを行うものとする。

4. 金銭報酬の額、業績連動報酬等の額の取締役の個人別の報酬等の額に対する割合の決定に関する方針

業務執行取締役の種類別の報酬割合については、当社と同程度の事業規模や関連する業種・業態に属する企業をベンチマークとする報酬水準を踏まえ、上位の役位ほど業績連動報酬のウェイトが高まる構成とする。取締役会（下記「5.」の委任を受けた代表取締役社長）は種類別の報酬割合の範囲内で取締役の個人別の報酬等の内容を決定することとする。

5. 取締役の個人別の報酬等の内容についての決定に関する事項

個人別の報酬額については取締役会決議にもとづき代表取締役社長がその具体的内容について委任を受けるものとし、その権限の内容は、各取締役の基本報酬の額および各取締役の担当事業の業績を踏まえた賞与の評価配分とする。

以 上